

●とびくす●

栄冠は再び三好支部に － 第35回支部対抗ソフトボール大会 －

去る10月30日、吉野川河川敷グラウンドにおいて支部対抗ソフトボール大会が行われました。

去年は雨天のため中止となり、多くのソフトボールファンをがっかりさせました。今年も小雨交じりの天候ではありましたが、みんなの熱気で吹き飛ばそうと、試合を始めたところ、途中雨もあがり、決勝戦が終わる頃には晴れ間も見えるようになりました。

かつての名門板野支部は川島支部に勝ったものの、あまりの雨のひどさに帰ってしまい、このため三好支部は、いきなり決勝戦に進出。

一方、徳島支部は鳴門支部に勝利の後、美馬支部の美少女投手（美馬支部長の上柿さんの御令嬢、噂では19歳とか）を容赦なく打ち込み、決勝進出を果たしました。

三好支部は、徳島支部が勝ち進む間、入念なウォーミングアップにつとめ、決勝戦は16対1というスコアで徳島支部を一蹴しました。それにしても2度の中止を挟んで三好支部の三連覇、驚くばかりです。

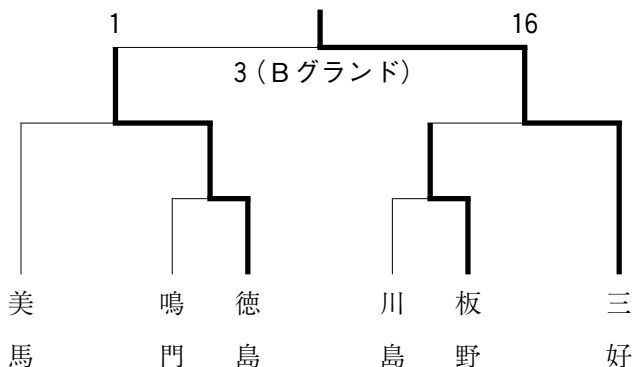
表彰式の頃には、ようやく雨も上がり、表彰場もぬれずにすみました。ところが、試合の得点結果を書いた紙はグショグショに濡れていたため、持ち帰れず、結果として、決勝戦の得点しか掲載できないことをお詫びします。

大会運営にご協力いただいたみなさん大変ご苦労さまでした。

優勝 三好支部

準優勝 徳島支部

トーナメント表



三好十一人衆



いよいよ開幕



背中に「釣りが好き」と



決勝戦途中経過



徳島支部のリリーフ



編集部員も出塁



佐藤会長も一振



白球は空を舞う



表彰式

●ほっとにゅーす●

秋のフットサル大会★

TEAM J1! IKUZO

すっかり秋も深まり、紅葉も見頃な季節となりましたが、皆様どのようにお過ごしでしょうか。

秋と言えば、読書や食欲の季節ではありますが、忘れてはいけないのが、土会恒例の『秋のフットサル』です☆

10月23日とくぎんトモニプラザで行われましたフットサルの様子を写真付きで簡単にご報告させていただきます。

建築士会+最強キッズ、約20名が参加しました。
チーム名・選手を紹介します。

 TEAM ホリカネ BANDOO!

掘金さん・掘金凜人くん+お友達2人・坂東さん

 TEAM M.F.C.

槇野さん、槇野さやかちゃん&こうすけくん、
南かいとくん、近藤さん（平成生まれ?!）

 TEAM J1! IKUZO

桜木さん・桜木脩也くん・真鍋さん・田野さん・助っ人

 TEAM アラ! 40-

竹内さん・竹内新くん・藤高さん・南さん・河村さん



試合風景

以上の4チームに分かれて、一試合8分間の試合を開始!

欧州サッカーと思わせるような個々のテクニック、チームワークをフルに活かした試合展開の中、見事、“TEAM J1! IKUZO”が優勝を手にする事となりました。

その後、平成生まれの選手でのエキビションマッチが行われ、先程まで試合があったとは思えないような俊敏な動き、スタミナ、若さを、疲れ切った大人たちに見せつけてくれました。…ただし、一人を除いては(笑)。

なかなか交流する事の少ない方々や若い年代とスポーツを通して交流を持てる事ができ、本当に楽しかったです。

また、次回も機会があれば参加したいと思います。
ありがとうございました。



試合後の記念撮影

平成23年度 東北視察

東北視察メンバー一同

去る9月16日から20日にかけて7名で東北視察に行っていました。報告も兼ねまして「まちかど」に書かせていただきます。

徳島支部 板東：今回、釜石、大船渡、陸前高田、松島、石巻と視察してきました。津波による被害は甚大で、まだいたるところに瓦礫が山積みされていました。被災地の雰囲気を感じ取れ意義のある視察となりました。

徳島支部 岩本：視察最初の釜石に入った瞬間、まるで映画の世界に入ってしまったかのような非現実的な世界を目の当たりにして頭の中が軽いパニック状態になってしまった。人気はなく、自分の頭の中で理解している‘まち’の姿ではなかった。しかし、そんな風景を見てまわっていると、当然のことだが、各地域それぞれ違った姿であった。徳島に置き換えたときに、やはり地域ごとの特色はきちんと整理しておく必要があると感じた。

川島支部 井内：どの被災地も境目が極端にあったと感じました。海水が来た境、液状化したところの境、生死を分けた境、どの境も人間が想定して線引きをしたであろうと思います。しかし、想定という不確かなものに過信しすぎた人災という見方もできるのではないかと思います。自分の身は自分で守るしかないことを再認識しました。

被災後の生活についても課題が山積しているようですが、我々が作った規則に縛られ、思うように被災者の為に成っていない様に感じる事が多々ありました。人間の心の原点を見つめ直す事が必要と感じました。

徳島支部 蓑田：盛岡、仙台市内は、見た目にはいつもの日常が戻っているように見えたのですが、沿岸部の被災地では、瓦礫等は取り除かれているものの、半年たった現在でも津波の爪痕があちこちに残っていました。釜石にしても陸前高田にしてもテレビや新聞等で見ていましたが、実際に生で見ると、言葉がでないというか、言葉にならないというのが感想でした。今後、徳島でも起こりうることなので、今月発足する「地域防災研究会」の中で、建築士として一県民として、できることを考えていこうと思います。

徳島支部 赤尾：最初に訪れた釜石の沿岸部へ降り立ったとき、その惨状を前に涙が溢れてきました。この町であの日どれだけの人が逃げて、流されて、命を失い、大切な人を失い、喪失感を抱きながら生き、それでも前を向いて戦っているのか。それまでどこか現実味がなく、テレビの中の出来事でしかなかった被災地には、その現

実がありました。多くの人に生き延びてほしかった。

日頃からの防災対策や避難訓練など、今後も必ず起こる災害に備えた地域ごとの取り組みとともに、一人一人が災害の危険を再認識しなくてはいけないと思います。

徳島支部 高見：私が一番衝撃を受けたのは石巻市でした。石巻市は地震の揺れでというよりも津波で甚大な被害を受けた町でした。半年経った今もまだ瓦礫等が残ったままで、津波の痕跡が残っていました。テレビや新聞等で何度も見てはいましたが、実際に現地で見ると雰囲気は全く違うものがあり、言葉を失ってしまいました。

この未曾有の出来事を今後に生かしていくためにも、徳島に持ち帰った情報を共有し、皆で一緒に防災について深く勉強したいと思います。

徳島支部 真鍋：この度の視察では岩手県建築士会の方に沿岸部の被災地へ同行して頂けた。前日にスライドを見せて頂き話しも聞かせてもらう事が出来たが、いざ沿岸部に足を踏み入れた時には言葉を失った、そして以前は人で賑わっていたであろう大船渡の商店街、「避難場所に指定されているのはあそこです」現地の方が指差すのは山の麓の小さな神社、確かにそこは地震の被害にもあっていない、過去の経験から被害に遭わなかった場所へ神社を建て、避難場所に指定したのだろう。

今回の震災でも避難をせず命を落した人も多いと聞く。この地方にかぎらず過去に地震や津波の被害に合った地域では何らかの警告は伝えられているはずである、しかし、平和で多忙な日常を過ごすうちに天災という脅威を忘れてしまうのだろうか。近年の過去を振り返っても地震津波やその他の自然災害で多くの街や命を失っている。日本は自然災害の多発国である事を忘れてはいけない。過去の教訓を噛み締めもう一度自分のまちについて考えるときである。



復興のシンボル 1本松にて（岩手、岡山、徳島）

●あなたが出番●

会社の実務業務を通じて、連(レン)を知り、連(レン)でおどろく…

小松島・勝浦支部 今岡 たけし

■今回の執筆は…

私は、建築資材を販売する会社に勤務しており、主に、金属屋根や金属外装材など、建築法令上では、非構造部材に属するものを製造・販売しております。

建築基準法上では、施行令第39条の2項(屋根葺き材等の緊結)や、第82条の4項(屋根葺き材等の構造計算)に関して、法令上の縛りを受けます。

今回の執筆は、所属する会社の仕事の中で、知りあった公的機関の職員さんと、いがいな、連(レン)のつながりを紹介したいと思います。

■いがいと、厄介！ 建基法施行令第82条の4

平成19年の建築基準法の改正で、非常に驚愕したことは… H19年末をもって、4号特例廃止に伴う対応ということでした。屋根高さ13m以下の建築物(主に、戸建住宅)において、屋根葺き材の構造計算を行う上での強度確認のデータが求められるということでした。つまり、強度確認していない屋根葺き材は、理論上、販売できないということです。

僕は、驚愕して、怖くなりました。なぜなら、自社製品を売ることは、建築法令違反、つまり、建築警察という機関があれば、タイホされてしまうからです。



建築警察にタイホされないための、公的機関。

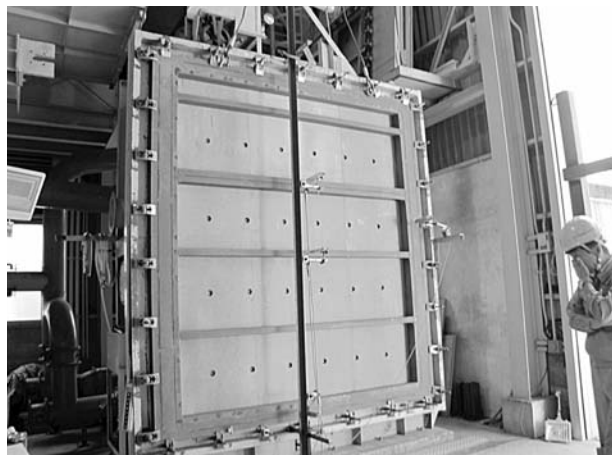
■いざ！ (財)日本建築総合試験所・耐風試験室

神の手をささげてくれた、公的機関の職員さんがいました。

(財)日本建築総合試験所、耐風試験室の職員さんです。

屋根葺き材の耐風圧試験の方法や手続きがわからない小規模メーカーの方に、公的機関の試験方法の解説や法

令も含めた説明、当機関の案内パンフレットを含め、(社)日本金属屋根協会の毎年11月～12月に開催される金属屋根講座なる、講習会に、案内パンフレットを配布していたのです。公的機関としては、お休みの土曜日なのに…



業界で一番厳しくて、温かい、耐風圧試験室！

■耐風設計に対して、業界へ訴える、耐風試験室長は…

僕が、当機関を尊敬する理由は、屋根の安全性に対する世間への訴えが、ハンパでない情熱だからです。

耐風試験室の室長は、徳島県出身であり、建築士会の板野支部の事務局の石井さんとは、先輩、後輩であります。

耐震では、石井さんにご指導頂き、耐風設計では、石井さんの先輩である、西村室長にご指導を頂いております。

不思議なご縁というか、やはり、建築士会のキーワードでいう、連(レン)とは、このようなつながりの延長なのかもしれません。



(財)日本建築総合試験所・業務説明会にて

近江八幡散策&佐川美術館見学

板野支部 田中 康恵

去る10月29日、久々に女性部会建物見学会に参加させていただきました。

早朝の集合時間にもかかわらず、元気に全員集合！予定どおりに徳島を出発することができました。

近江八幡までの車中では、定番の映画鑑賞。森田芳光監督、堺雅人主演「武士の家計簿」でした。

この日は晴れ、渋滞もなく、1時間早く到着しました。

ここ近江八幡は豊臣秀吉の甥の秀次が築いた城下町を基礎として、江戸時代には商業都市として発展しました。いわゆる近江商人発祥の地です。近江商人の中核をなす八幡商人の力は明治になっても大きく、全国初の県立商業学校がつくられました。このとき英語教師としてアメリカから招かれたのがウィリアム・メレル・ヴォーリズで、彼は終生この町に留まり、建築事務所、製薬会社（近江兄弟社）、学校、図書館、病院などの事業を展開し豊かな日本文化の中に、新たな西洋の文化を吹き込みました。一方、琵琶湖を背景に豊かな自然に恵まれ、安土にまたがる西の湖の水郷は全国的にも屈指です。

思わず自由時間が増えたので、ゆったりと町並み散策。このエリアには点々とヴォーリズ建築が残されています。そのひとつ、旧八幡郵便局は改修を経て現在も多目的のホールとして利用されていました。（ちなみにヴォーリズの日本名は一柳米来留と書いてヒトツヤナギメレル。米国から来て近江に留まるという意味らしい?）

新町通りには商人の本宅や土蔵が建ち並び、滋賀県で最初の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。どことなく脇町にも似ているように思いました。

八幡堀は江戸時代の風景が色濃く残っており、時代劇の撮影によく使われるそうです。観光案内所となっている白雲館に入ると、壁にドラマや映画のロケ写真が沢山貼られていて、「武士の家計簿」のワンシーンを発見！

散策を終えると、近江八幡唯一の酒蔵、西勝酒造が開館した酒游館にて昼食。滋賀料理はおいしかったです。

昼食の後移動して日牟礼八幡宮を参拝。しっかり神頼みをしたらず、近くのクラブハリエへ。

ここはバウムクーヘンが特に有名な洋菓子店で、店内は既に人でいっぱい。どうにか買い物を済ませました。

近江八幡を離れ、移動した先は佐川美術館です。1998年に佐川急便創立40周年を記念して開館しました。敷地は大部分が水庭で、3つの展示館が水に浮かぶように見えます。深い軒、連続する円柱、ブロンズの鹿。一瞬で惹き付けられました。（夜間のライトアップもきっと綺麗。）展示館は平山郁夫館、佐藤忠良館、樂吉佐衛門館

と分かれています。展示作品も素晴らしかったですが、樂吉佐衛門館（陶芸館）が一番強く印象に残りました。

「守破離」をコンセプトに展示室と茶室で構成され、樂家の伝統と斬新な造形美を表現しています。展示室は壁が黒く、天窓や照明の当て方で作品を際立たせていました。予約制で見学できる茶室（撮影不可）は今まで見た茶室とは違いました。路はうす暗いののに、広間に入ると壁一面ガラス張りで明るく、天井も高くて驚きました。

そこに花がなくても、頬に触れる空気や窓から差し込む光の強さで季節を感じ取り、そして、日常の慌ただしさを忘れ、茶の道に浸る・・・心が落ち着くひとときでした。

帰りも運転手さんのお陰で渋滞を避けられ、無事、予定どおり徳島へ戻ることができました。

担当の濱田さん、運転手さん、ご参加の皆様、お疲れ様でした。



女性部からのお知らせ

■女性部定例会

日時：1月28日(土) 午後2時30分～午後3時
場所：士会会議室

■女性部主催「勉強会」のお知らせ

「捨てる」から始める快適生活
日時：1月28日(土) 午後3時～午後4時
講師：アトリエ・クー主宰 杉本真理子氏
場所：士会会議室
☆一般参加可能です（無料）ぜひご参加ください。

●士会だよりー徳島県木造建築研究会●

公開講座－Ⅰ

解説他「木造計画・設計基準及び同解説」

講師：金井仁志（徳島県林業振興課次世代林業戦略室 室長補佐）
浜本高弘（徳島県木材協同組合連合会 業務課長）
宮林正幸（㈲ティー・イー・コンサルティング）

日時：平成23年12月14日(水)

内容：1部 県産材の流通（金井仁志）
2部 JAS 材について（浜本高弘）
3部 「木造計画・設計基準及び同解説」の解説（宮林正幸）
4部 木造校舎・木造体育館・武道館の実例紹介（宮林正幸）
5部 木造建築研究会で今年度取り組む試設計の方針等説明 質疑応答

公開講座－Ⅱ

講演会「公共建築物の構造設計について」

講師：山辺豊彦（山辺構造設計事務所 代表取締役）
日時：平成23年12月15日(木)
内容：1部 実例による公共建築物の構造設計（一般設計者向け）
2部 木造の構造設計について（構造設計者向け）
会場：（共に）徳島県森林林業研究所 4階 研究発表室
（共に、資料代として参加費500円必要です）
申込み先：徳島県建築士会 TEL088-653-7570 FAX088-624-1710
申込み〆切：平成23年12月2日(金)

●士会だよりー徳島支部●

★スキーツアーの参加募集★

場所：兵庫県ハチ北高原
日時：平成24年2月11日(土)～12日(日)
参加費：25000円 程度（参加人数により変動します）
士会会員じゃなくても参加OKです。お友達を誘ってください。
子どももOK!! 家族連れでぜひ!!
主催：徳島県建築士会 事業委員会
他県との交流もおこないます。鳥取からは「かに」も来ますよ★
申込み：徳島県建築士会 TEL088-653-7570 FAX088-624-1710
平成24年1月10日締め切り
担当：高田 090-2784-9070 杉本 090-4780-2800

●士会だよりー女性部●

女性部定例会

日時：1月28日(土) 午後2時30分～午後3時
場所：士会会議室

女性部主催「勉強会」のお知らせ

「捨てる」から始める快適生活
日時：1月28日(土) 午後3時～午後4時
講師：アトリエ・クー主宰 杉本真理子氏
場所：士会会議室
☆一般参加可能です（無料）ぜひご参加ください。

●行政だより●

応急危険度判定士資格認定(更新)講習会のお知らせ

徳島県では次のとおり「徳島県地震被災建築物応急危険度判定士資格認定(更新)講習会」を開催します。
講習対象者は、徳島県内に在住又は勤務し、次のいずれかに該当する方です。
・新規に判定士登録を希望する建築士
・平成18年3月31日以前に登録した判定士（5年経過者）
・平成18年度登録の判定士（5年経過を迎える者）
・県、市町村に勤務する建築、土木技術者
※更新の方については、更新申請書、顔写真2枚、登録証の提出のみでも更新可能です。
ただし、有効期限切れにより資格を失効している方は、講習会の受講が必要です。
日時：平成24年1月27日(金) 午後2時から4時30分まで
場所：あわぎんホール徳島県郷土文化会館4階大会議室
（徳島市藍場町2丁目14番地）
申込み先：徳島県県土整備部建築開発指導課（TEL088-621-2595）
申込み期日：平成23年11月21日(月)～平成24年1月25日(水)
受講料は不要です。
詳細は徳島県建築開発指導課のホームページをご参照ください。
また、ご不明な点等がございましたら、当課までお問い合わせください。

編集後記

- ・最近、初対面の人に「あ～！れんこんの人」と言われることが多くなりました。（中山蓮太郎）
・Yo、れんこんの人！（ぺぺい）
・Ya、れんこんの人！（耐西）
・もうレンコン版画の年賀状は出しましたか？（ノーリツ号）

建築士会本部行事案内 平成23・24年

12月	平成24年1月
1日 1日会（士会会議室）	6日 安全・安心リフォーム相談（士会会議室）
2日 まもりす保険説明会（貞光ゆうゆう館）	11日 建築相談（〃）
4日 安全・安心リフォーム相談（阿南市文化会館）	13日 安全・安心リフォーム相談（〃）
8日 財務委員会（士会会議室）	18日 建築相談（〃）
9日 安全・安心リフォーム相談（〃）	20日 二級建築士免許証交付式（徳島県）
14日 建築相談（〃）	27日 応急危険度判定士資格認定講習会（あわぎんホール）
16日 安全・安心リフォーム相談（〃）	安全・安心リフォーム相談（士会会議室）
17日 常任理事・理事会（建設センター6・7F）	
21日 建築相談（士会会議室）	
22日 安全・安心リフォーム相談（〃）	